

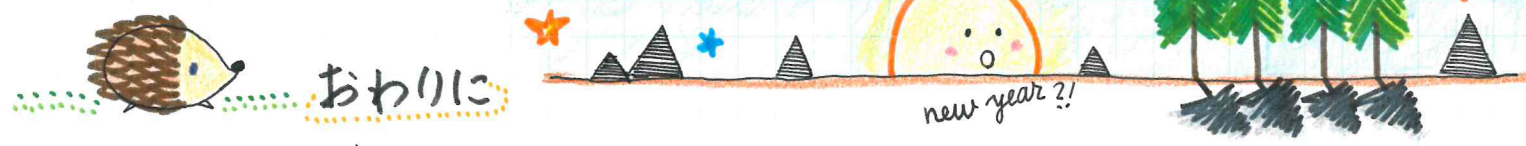
# 男小林遊々記

自然もよなく愛する  
男小林より一言苦言です。

男・小林の一番好きな趣味と言えば？ (と言えど... や、ほあれでしょ!?) そう、釣りです。今は海での磯釣りにハマっています。子供の頃は近所の小川で釣ったハヤや鮒に始まり、投げ釣り・ルアー釣り・渓流釣りなど、色々な釣りをしてきました。(いろいろやっただね〜) 釣り以外にも、ザリガニやズガニ・ドジョウなんかを獲中になって捕まえました。とにかく、水中生物は大好きでした。よく農家の方が仕掛けたドジョウを捕る「もじり」って言う漁具を勝手にばらして、中に入ったザリガニを捕まえては、怒鳴られて追いかけられたものです。(それはや、ちやダメでしょ〜) すみません少し脱線しました。(ホント昔の農家さんに、ちゃんと謝りなさい) そんな男・小林が大好きな趣味も美しい自然があっはじめて出来ることです。(確かに) 磯釣りは朝早く港を出船して、沖の磯に向かうのですが、ちょうどその時間は水面に朝日が反射しキラキラして、本当に美しい景色を見ることができます。これから始まる磯での釣りへのワクワク感とそれを歓迎してくれるかのような海の美しさ(なんか加山雄三の世界みたいだね) 最高に幸せな気分になります。でもたまに、ごくわずかですが、そんな気分もぶち壊す人もいます。そんな美しい海にタバコの吸い殻をポイしたり、ゴミを海に捨てる人がいるんです。(え!?! それは最低だね...) 釣り場も前日か、それより前に捨てられた釣り糸や仕掛け、コンビニのゴミ等、そのままになっている時があります。自然に遊ばせてもらっているのに、どうしてそんな恩も仇で返すような事が出来るのか、不思議でなりません。ある時から男・小林は、磯に到着したら、まずゴミ拾いをするようにしています。磯にへばりついたゴミを拾うのもなかなか大変ですが、どうしても見ないフリはできません。(さすが男・小林!!) そうしないと、気持ち良く釣りができませんからね。磯場に限らず、海には本当に大量のゴミが流れています。昔に比べると、ペットボトルやプラスチック製品が多く、これらは自然界に戻ることはまずありません。それらを海の生物が誤って飲み込み、死ぬこともあるとか、死んだウミガメの胃袋から大量のビニール袋が出てきた事実もご存知の方も多いはず。なんでもエサのクラゲと間違えてしまうようです。さて、ここからは持論も交えてお話しさせていただきます。

ボランティアで清掃活動をされている方のおかげもあるとは思いますが、昔に比べて最近道路や広場がきれいになったと思いませんか? 昔は道路に色々な物が落ちていたように思います。自分が小学生の頃には駄菓子屋で買ったお菓子やおもちゃの空き袋なんかをポイポイ捨てていたような記憶が残っています。今の若い世代の層の人達は、ゴミをポイ捨てる人が極端に少ないと思います。ゴミのポイ捨てやタバコの吸い殻の投げ捨てなどは大部分が中高年以上の年代のような気がしてなりません。勿論、全ての方が、と言う訳ではありませんが、実際に見かけて何となくそう思うのです。何故かと言う事を考えてみると若い世代は、単純に学校での道徳教育が行き届いているからだと思うのです。ゴミは捨てるはいけない。ゴミはゴミ箱に、リサイクル出来る物は分別を 学校教育で教えるあたり前の事もごくあたり前に守っているだけだと。だんだんとそのような教えが浸透していく中で、自分も含めて学校での道徳教育がまだ手薄であったであろう時代に育った人数の多い中高年世代の中にはいまだに、ごく普通に悪気もなくゴミを捨てる人がいるのではないかと。さすがにゴミを直接道路に捨てる人は減多に見かけなくなりましたが、タバコの吸い殻を溝蓋の穴にポイとか川に何でもポイポイ捨てる人

や車からのタバコの投げ捨てなどを発見したりすると、そのほとんどが年配の方達のような気がします。そして結局最終的には海に流れていくんですね。あとは似たような話で、歩行や自転車での信号無視なんかも同じです。子供の見ている前で平気で渡る赤信号。今の小中高校生は皆な信号を守ってマナーが良いですね。この話を読んで心当たりがあったり、胸が痛くなった方は、海や川からの恵みがいつまでも続くように、自分の行動を少しづつでも見直してみませんか? 何気なくやっているあなたのその行動、子供達は見ていますよ。(なんか、とても真面目でっ、こむとこ、ありませんでいい) そんな男・小林からのちょっとした苦言でした。



早いもので今年もあとわずか。当たり前の話ですが、またひとつ歳をとってしまいました。子供の頃に歳計: 1年の10分の1くらいの速さで時が流れているような気がしてなりません。どこかでんびりゆっくり時間を使わないと、とは思っているもののなかなか出来ません。皆さんはいかがですか? 最近大河ドラマの「麒麟がくる」の影響で、戦国時代の歴史を学んでいます。(学んでいます! うてマンガでしょ) この歳で何となく日本人の歴史やルーツみたいなものに興味が湧いてきて、昔知り合いからいただいた『マンガで見る日本の歴史』と言う本を寝る前に読んでいます。明智光秀は何故、織田信長を討ったのか? ドラマの流れとマンガのストーリーも重ねつつ勉強しています。歴史と言えばこの新聞を書いているまさに今日、太平洋戦争が始まりました。戦国戦乱の時代や激動の明治・大正時代、アメリカや中国を相手に戦った太平洋戦争を経験した先祖の血が受け継がれている日本人は、きっとこのコロナも乗り越えられると信じています。(そうだ! 信じましょう!!) さてさて、来年はどんな年になるのでしょうか。不安なような楽しみのような...。我が家でも、この年末年始は特別な事はせずに、いつも通り、ごく普通に過ぎそうと決めました。逆にいつもと違う年末年始を楽しみたいと思っています。皆様もどうか、コロナは勿論のこと、インフルエンザや風邪などに十分注意して、良い年越しをお迎え下さい。来年も皆様にとってより良い1年であることを心よりご祈念申し上げますとともに、工房西ふじにも変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。最後に、この工房西ふじ新聞・冬号にて、新年のご挨拶も兼ねさせていただきます。何を卒ご容赦下さい。それではまた来年の夏号まで。良いお年を.....



年末年始  
火の元には十分  
気をつけるのじゃ

泥棒にも  
気をつけるのだ

提案型建築工房  
工房西ふじ

〒418-0056 富士宮市西町10-15  
TEL: 0544-25-6263  
FAX: 0544-25-6264



(営業時間: 10:00~)